

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	「身体拘束をしないケアの実践」では立地条件が悪く、玄関先に急な坂道があり、以前、事故が起きたこともあり玄関の開放は難しいところである。	全職員が拘束の意味を理解し、一部の職員の実施にとどまらず、利用者が窮屈な思いをせず、自分らしい生活が送れるよう支援に努める。	玄関の施錠が当たり前にならない様に違う場面で利用者の希望を受入れ満足できる様、計画的に取り組んでいることを今後も継続していく。	12ヶ月
2	51	「日常的な外出支援」の頻度が利用者の重度化もあってか最近、少なくなっている。今回の利用者家族等アンケートの結果で「希望の場所等への外出」と「本人のサービス満足度」の質問で「できていない」が目立っていた。	外出可能な方は計画を立て、全員戸外へ出かけられるよう支援に取り組む。	天候や暑さ、寒さを考慮し、希望される場所はもちろん、外気に触れ季節を感じられる支援を計画的に実践していく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。